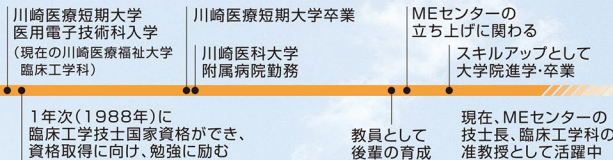


Clinical Engineer

臨床工学技士とは

「厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行なうことを業とする者」(臨床工学技士法)。医療従事者の中で唯一、専門的な工学的知識を持った専門技術者。病院にあるさまざまな医療機器の操作や、常に安全に使用できるように逐次メンテナンスを行ない医療の安心安全を支えている。

臨床工学技士になるために ~高山さんが歩んだ道~



チーム医療を支える医療機器のスペシャリスト

- ☑ 技術の進歩や医療機器の高度化に柔軟に対応する能力
- ☑ 患者さんの状態に応じた機器の選定と対応力
- ☑ チーム医療の一員として専門性の発揮と橋渡し役の実践

臨床工学技士に 求められる 素質とスキル

チーム医療の要として

医療機器の操作、保守点検だけでなく、研究会・講演会などの教育活動もMEセンター主導で積極的に企画しており、臨床工学技士は病院における医療の質の向上・安全性確保の要となっています。特に中央手術室においては、手術を受けられる患者さんに最新かつ最高水準の医療が提供できるよう、医師・看護師・放射線技師・薬剤師・事務部門と協力して、チーム医療を支えています。



MEセンター長
中塚秀輝 麻酔・集中治療科教授



ICUでは手術後、重症な患者さんに対して最新の医療機器を使用し、治療を行なう。臨床工学技士は人工呼吸器や補助循環装置の操作などに携わっている。



腎センターでは透析装置やモニタリング装置などの医療機器の特性を理解した上で、安全かつ効率的な血液浄化療法の技術を提供。腎臓内科医や各診療科と協力して業務を行なっている。

Report!

安心・安全を支える 医療機器のスペシャリスト

医療最前線 >>> vol.44

川崎医科大学附属病院
臨床工学技士

MEセンター 技士長
高山 綾 Aya Takayama

川崎医科大学附属病院のMEセンターには現在、中塚センター長と24人の臨床工学技士が所属。医師、看護師、各種医療技術者と連携しながらチーム医療に取り組んでいる。

医療機器が高度・精密化した現代の医療現場に欠かせない存在。

高山綾さんはキャリア二六年を誇る臨床工学技士(Clinical Engineer)。医師や看護師、多くのメディカルスタッフとチームを組んで人工心肺装置や人工呼吸器といった生命維持管理装置の操作や保守・点検などを中心に行なっている。当院では臨床工学技士が配置されているのはMEセンターをはじめ腎センター、中央手術室、集中治療室、高度救命救急センターなど。また、新生児集中治療室、病棟外来でもいつでも医療機器が安心して使用できるよう保守・点検を実施、医療の質の向上と安全性の確保に貢献している。「医療機器が高度化・精密化した現代の医療現場において、臨床工学技士はまさに欠かせない存在となりました。医療機器のスペシャリストとして医師や看護師の負担も軽減し、ひいては患者さんのメリットにつなげていくのが私たちのこのエンジニアの役目です」。

今年の四月からは川崎医科大学附属川崎病院(岡山市)の技士長も兼務し、二つの病院のマネジメントにも携わっている。

また、現在、高山さんは川崎医療福祉大学・臨床工学科の准教授として後進の指導にも当たっている。「講義や臨床実習教育を行なっています。臨床工学技士として必要な知識、技術はもちろん、医療人としての心得や覚悟なども積極的に伝えて、この医療機関でも通用する『良き医療人』の育成に取り組んでいます」。

医療機器の専門家としてチーム医療を支える。MEセンターの立ち上げにも奮闘。

工学と聞くと、理系で男性というイメージが強い。今でこそ女性の臨床工学技士も増えて高山さんが資格を取得した当時は珍しかったのではとの問いに、「もともと母が当院で働いていて、私も高校への通学時いつも当院の横を通っていました。臨床工学技士を志したのは、医療職に関心があつたこと、これからの時代に必要とされる仕事だと思ったからです。当時はまだ国家資格制度もこれからという時代でしたけど」と高山さん。高校卒業後、川崎医療短期大学(現在の川崎医療福祉大学臨床工学科)へ進学。卒業時に制度化されて間がない国家試験に合格。高山さんが当院に入職した年が当院初めての臨床工学技士の採用。二からのスタートであったMEセンターの立ち上げにも奮闘した。「臨床工学技士の育成では、川崎学園は全国でも先駆的役割を果たしてきました。そのおかげで今の自分があります。事実、今でも学会などで『早くから臨床工学技士の育成に取り組んだ川崎学園の先見の明は素晴らしい、また卒業生にも優秀な人材が多い』と言われます」。

聞けば、卒業生は病院だけでなく、医療機器メーカーなどでも幅広く活躍しているとのこと。「世のなかからのニーズが高く、就職は超売り手市場です」と笑顔で語る高山さん。安心と安全を支えるスペシャリストとして高山さんはじめ、臨床工学技士のさらなる活躍が期待される。

お問合せ

川崎医科大学附属病院(倉敷市松島577)
0864621111
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>